

平成29・30・令和元年度「鍛ほめ福岡メソッド」実践リーフレット

読書活動の充実と学ぶ意欲の向上事業

平成29年度から、鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた、学校における読書活動の充実と学ぶ意欲の向上に資する実践研究を行いました。

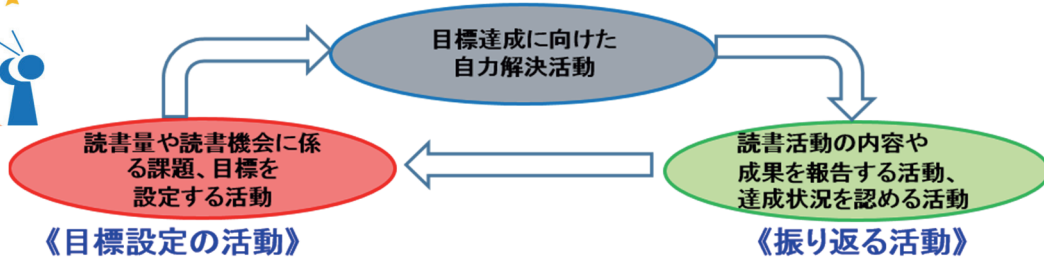
本リーフレットでは、6校の研究協力校の実践報告を紹介します。実践事例を参考にして、各学校、家庭、地域で「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた実践を広げ、子どもの学ぶ意欲を向上させましょう。

「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた「読書活動」の基本的な考え方



目的 ○読書活動の充実と学ぶ意欲の向上に資する実践研究
○成果を県内に広く普及

内容 学ぶ意欲の向上、学力向上を図る読書活動の在り方
《挑む活動》



学ぶ意欲につながる「読書活動」のモデル

「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた「読書活動」

目標設定の活動

読書宣言文 年間読書量や読書に関する目標の設定



挑む活動

読書タイム等を活用した目標読書量へのチャレンジ



必読書の設定

振り返る活動

「達成状況を認める活動」
← 心に残った本を紹介する活動

← 目標達成者の紹介



「読書活動」を支える授業・環境づくり

【授業での取組】

- 読み方や語彙の習得
- 並行読書、発展読書
- 書く活動の日常化 (ことばノート、行事作文等)
- 各教科での図書館の活用



外国語科での多読の取組

【多様な「読書活動」】

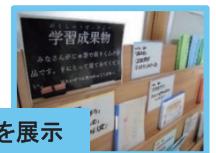
- 読書タイム等の設定
- 図書委員会の計画的な取組
- 読書に係る活動の計画的な実施
- 読書ボランティアの活用
- 保護者と連携した「うちどく」の実施



「うちどく」専用のバック

【学校図書館の取組】

- 学校図書館の環境整備
- 読書・学習・情報センターとしての機能の充実
- 公共図書館との連携



学習成果物を展示

学校全体の体制づくり

- 学校長は「学校図書館長」。司書教諭、学校司書と連携し、学校全体で組織的な取組を実施。
- 学校図書館全体計画を作成し、全教科で計画的な取組を実施。

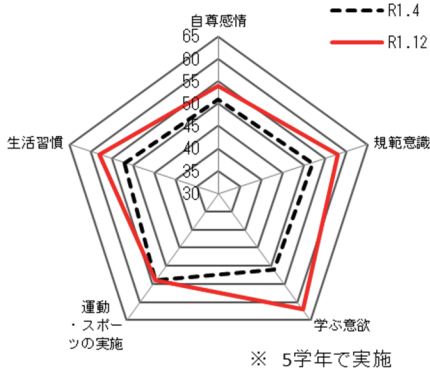
研究協力校 芦屋町立 芦屋小学校

「自ら意欲的に読書に取り組み、読みや学びを深める子ども」



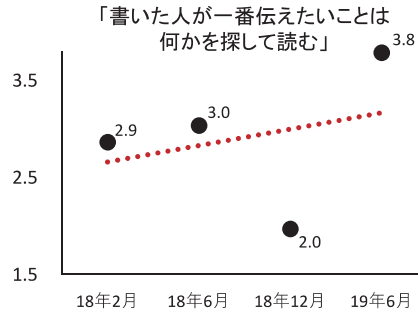
取組の成果

【SRT測定尺度結果】

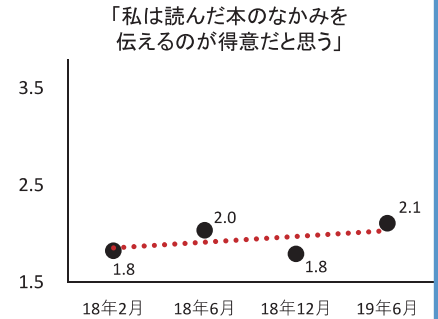


【読書についてのアンケート結果】

文章理解方略



自己効力感



※2019年度の5年生の平均値の推移(得点の範囲は1点～5点)

こんな効果がありました！

- 「並行読書」を行ったことで、読書に対する意欲の向上に繋がった。
- 年間指導計画に読書の啓発活動を位置付けたことで、高学年で国語等の学ぶ意欲が10ポイント向上した。



主な取組内容

(1) 児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上について

- 地域の読書ボランティアによる読み聞かせ
- 図書委員会主催による「ブック de ビンゴ(全ジャンル制覇をめざす)」の取組
- 国語科「読むこと」領域の学習における「並行読書」(※)の取組
(※ 教材と同じ作者や同じテーマの作品を読むことを位置付ける指導の工夫)

ボランティアによる読み聞かせ



(2) 取組体制について

- 図書館利用指導月別一覧表の作成
- 学校組織としての取組となるよう、司書教諭との連携
- 図書担当教員と町立図書館等の地域施設および家庭との連携

目標を達成した児童に贈る「しおりと賞状」



特に効果的だった取組

【読みを深めよう～並行読書～】

「実践のポイント」を図に示しています。



《挑む活動》 おすすめの本の紹介をする。



- 紹介する対象者の明確化
- 教科書教材文で学んだことを「並行読書」に活かす学習展開の工夫

《振り返る活動》



次回の目標設定を行う。

《目標設定の活動》

単元の終末(ゴールの活動)を知る。

- 教師によるモデル(お話屏風・ブックトーク)の紹介
- 「並行読書」に関する図書一覧の作成



- 成果をたたえ合い、次回の読書意欲につなげる交流活動
- 保護者や地域に紹介する成果物の掲示(図書室など)

こんな効果があります！

- 子ども同士で本の紹介を行うことで、子どもの読書意欲が向上し、読んでみたいと思う本の種類を増やすことができる。
- 本の深い読み方を学ぶことで、学習意欲の向上につながる。

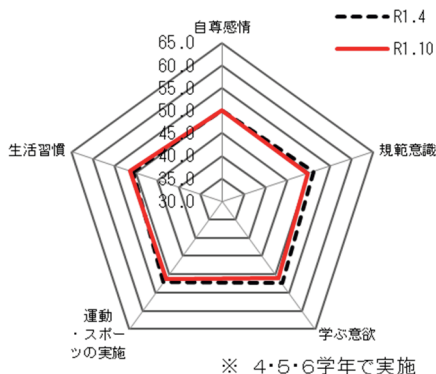
研究協力校 朝倉市立 馬田小学校

「豊かな読書生活をつくり、可能性を広げる児童の育成」



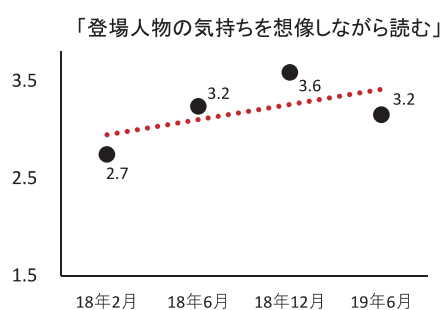
取組の成果

【SRT測定尺度結果】

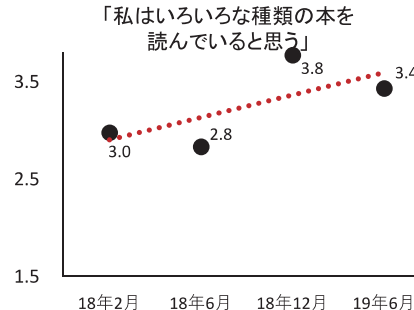


【読書についてのアンケート結果】

文章理解方略



自己効力感



こんな効果がありました！

- 読書意欲を刺激することで生活習慣改善への意識や学ぶ意欲が向上した。
- 読書に慣れ親しむ中で、読書量の増加だけでなく、主体的に読書に向かう姿が見られた。



主な取組内容

(1) 児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上について

- 「読書ノート」(読書の記録をとり、振り返り・目標の設定をする。)
- 様々な場面での読書活動の設定・支援(ビブリオバトル・読書郵便)
- 馬田小認定活動での表彰(目標読書冊数達成者の表彰)

(2) 取組体制について

- 担任と司書、地域図書館との連携
- 家庭・地域ボランティアとの連携(親子読書、「来夢文庫(地域)」)

おすすめの本を紹介する「読書郵便」



馬田小認定活動の表彰

特に効果的だった取組

【馬田小認定活動での表彰】

《挑む活動》 様々な場面での読書活動の設定・支援の工夫

- ビブリオバトル
 - ・本の選定及び、わかりやすく伝えるための内容・方法の工夫
- 読書郵便
 - ・相手意識を持たせた内容の工夫

「実践のポイント」を図に示しています。



《目標設定の活動》

「読書ノート」での振り返り、本年度の読書の目標の設定

- 「読書ノート」で自己の読書の記録の振り返り
 - ・前年度の読書ノートでの冊数
 - ・ジャンルの数値化

《振り返る活動》

馬田小認定活動での表彰

- 学期2回の全校朝会で、「新」読書100冊、読書200冊…を表彰
 - ・月ごとの個人の記録をもとにした賞賛・励まし



こんな効果があります！

- 学校全体とPTAの協力を得ての取組で、読書活動に対して意欲的に取り組む子ども・保護者の姿が見られるようになる。
- 読書意欲を刺激する取組を続けることで、主体的に読書活動に関わる子どもが増え、生活場面での主体性の発揮、生活習慣・運動面・学ぶ意欲の向上へつながる。

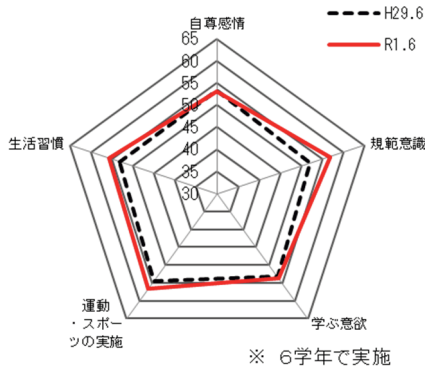
研究協力校 赤村立 赤小学校

「自ら考え、表現する力を育てる算数科・国語科学習指導～学ぶ意欲の向上をめざして～」



取組の成果

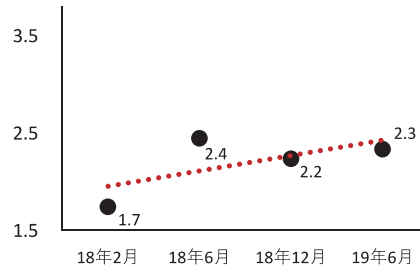
【SRT測定尺度結果】



【読書についてのアンケート結果】

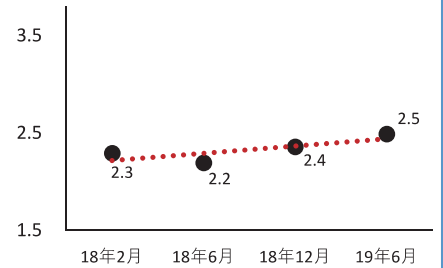
文章理解方略

「表や図と、文章をくらべながら読む」



自己効力感

「私は読んだ本のなかみを伝えるのが得意だと思う」



※2019年度の5年生(左図)と6年生(右図)の平均値の推移(得点の範囲は1点～5点)

こんな効果がありました！

- 様々な読書活動に取り組んできた結果、国語科の授業における学ぶ意欲の向上に繋がった。
- 意欲的に読書をすることで、いろいろな知識を得ることができ、それが実生活にも反映された。



主な取組内容

(1) 児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上について

- 目標読書量(1～3年生:冊数 4～6年生:ページ数)の設定
- 「チャレンジ！家読(うちどく)」(年間2回:11月と2月)
- 読書ボランティアによる読み聞かせ
(火曜日:分校 金曜日:本校)

(2) 取組体制について

- 学校図書館全体計画の作成
- 読書ボランティア(赤とんぼ)、PTA厚生図書委員会との連携
- 児童会図書委員会との連携



目標読書量達成者を賞賛する掲示物

- 上段 ページ数(5000から20000)達成
- 下段 冊数(50から200)達成

読み語りボランティア「赤とんぼ」による大型布絵本『まっくらネリノ』の読み聞かせ



特に効果的だった取組

【読書量を増やす取組】

《挑む活動》 自分の目標読書量突破をめざして、読書をする。

「実践のポイント」を図に示しています。



《目標設定の活動》

1年間の目標読書量(冊数・ページ)を決める。

- 本を読む時間・環境の確保
(読書タイム・机の横に図書バッグ)
- 本を借りる時間の確保
(登校後・中休み・昼休み)

《振り返る活動》

1年間の読書活動を認め合う。

- 友達同士で、おすすめの本を紹介する活動の設定
(おすすめ本の紹介文の図書室掲示)
- 目標読書量に到達した児童を賞賛する掲示物の工夫
(図書委員会による表彰)



こんな効果があります！

- 読書量が確実に増える。(H27:4.172冊→H30:14.160冊)
- 目標読書量に到達したことを、友達や教員、保護者から認められることで、前向きな気持ちを高めることができる。
- おすすめの本を友達同士で読み合うことで、読書の幅がさらに広がる。

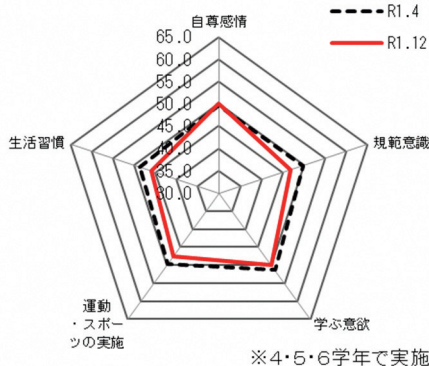
研究協力校 豊前市立 八屋小学校

「自ら本を手に取り、語彙力を伸ばす児童の育成」



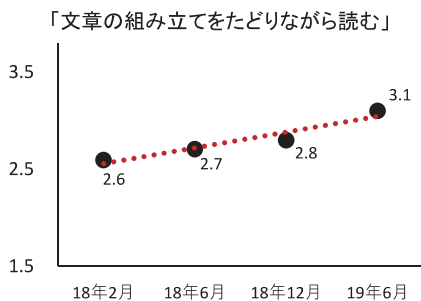
取組の成果

【SRT測定尺度結果】

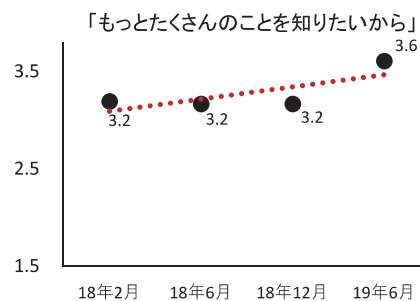


【読書についてのアンケート結果】

文章理解方略



内発的動機



※2019年度の4年生の平均値の推移(得点の範囲は1点～5点)

こんな効果がありました！

- 文章の組み立てをたどりながら読む力が高まった。
- 進んで読書をする子どもの割合が高まった。



主な取組内容

(1) 児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上について

- 読書活動に係る授業の実施(コラボ読み)
※コラボ読みとは、他者と協働して文章を読んでいく学習活動
- 朝の読書活動と図書委員会の取組の充実
- 朝のスキルタイム(辞書を使った意味調べ)
- 八小チャレンジの取組(学期1～2回の全校一斉漢字・算数検定)

なかまとコラボ読みで話し合ったことをホワイトボードを使って説明する様子



(2) 取組体制について

- 図書室の環境整備(読書スペースの設置、感想画の掲示)
- 国語辞典の所蔵数増加(スキルタイムでの活用)
- 読み聞かせボランティアの活用(毎月2回各教室訪問)

たくさん本を読んだ友だちを図書委員会が表彰する様子



特に効果的だった取組

【子どもを自立した読み手にする読書活動に係る授業(コラボ読み)】

《挑む活動》 読み方の方略を使って課題を追究しよう。



- 読み方の方略を使い、ひとりで読み込ませる。
- ホワイトボードを使い、なかまと意見交換をさせる。
- 全体で交流させる。

「実践のポイント」を図に示しています。



《目標設定の活動》

本を読んで生まれた疑問を解決しよう。

- ブックトークで本に対する興味を高め疑問や感想をもたせる。
- なかまで解決する課題を絞り込ませる。



《振り返る活動》

読書ノートに書くことで、学んだことを確かめよう。

- 使った読み方の方略をとり出し、確認させる。
- 手に入れた語彙やものの見方、考え方を確認、自覚させる。

こんな効果があります！

- なかまと共に読書を楽しむ姿勢が生まれ、読み方の方略(スキル)も高まる。
- 国語の授業と読書活動が一体化される。
- 自ら進んで本を読もうとする意欲が高まる。

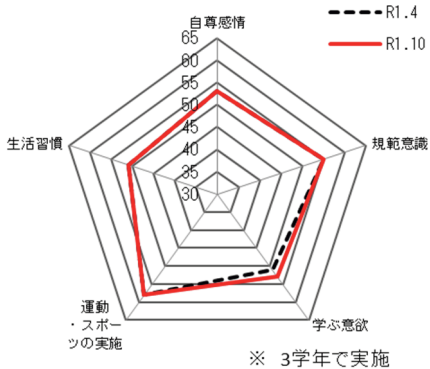
研究協力校 須恵町立 須恵中学校

「生徒の学ぶ意欲を高め、学力向上を図る読書活動の在り方について」



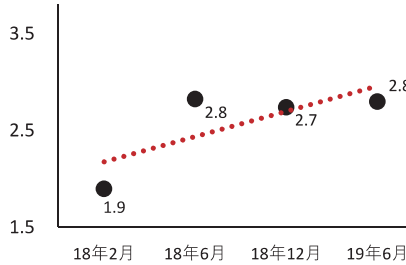
取組の成果

【SRT測定尺度結果】

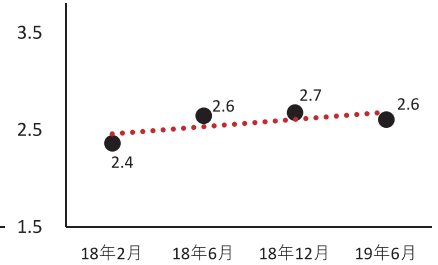


【読書についてのアンケート結果】

文章理解方略



自己効力感



※2019年度の3年生の平均値の推移(得点の範囲は1点～5点)

こんな効果がありました！

- 意味の分からないところを繰り返し読んだり図と文章を比べながら読んだりするなど、説明文の読み方が変わった。
- 読書に関する交流を増やすことで、「読書が好き」「どちらかといえば好き」と答える生徒が増えた。



主な取組内容

(1) 児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上について

- 計画的な教科の取組(本のポップ作成・読書郵便・ビブリオバトル・コラム作成など)
- 各学年の段階に応じた週末課題
- 季節感あふれ魅力ある図書館作り

(2) 取組体制について

- 学校図書館全体計画の作成
- 学校全体の取組となるよう、図書館教育委員会と生徒会、学校司書との連携
- 国語科を中心とした週末課題の作成と、回収や点検などの学年全体での取組

おすすめの本の紹介



「週末課題」
新聞のコラムを視写し、意見を書く。



特に効果的だった取組

【 週末課題を中心とした条件作文に自信を持たせる取組 】

《挑む活動》 新聞コラムと資料から条件に応じた作文を書く。

「実践のポイント」を図に示しています。



○コラムに対する作文の部分を、行数を少しずつ増やしたり、条件を増やしたりして徐々にレベルアップさせる。

《目標設定の活動》

資料やグラフから事実や主張をつかんで書く。

○数学や社会、などの教科の学習で、グラフや図から事実を見出したり、関連付けたりする取組を設定する。



《振り返る活動》

毎日の三行日記や感想文など日常すべての書く作業や学力テストを振り返る。

○文章を書けるようになった自分に気づかせ、自信をもたせる機会を増やす。



こんな効果があります！

- 生徒の文章を読むスピードが速くなり、書く力が付く。
- 生徒の書くことに対する不安感や苦手だという気持ちが軽減される。

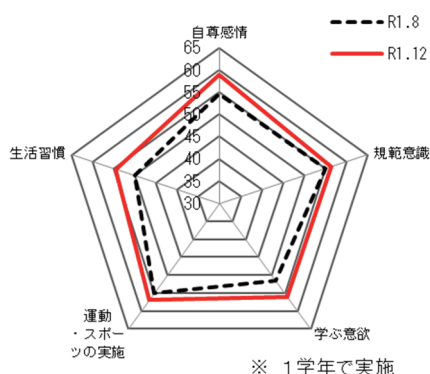
研究協力校 みやま市立 山川中学校

「読書を日常化しよう」



取組の成果

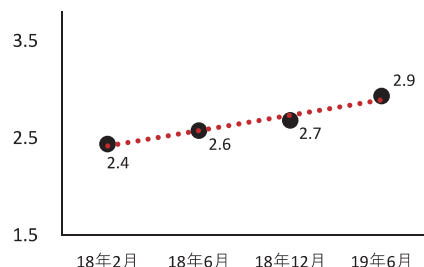
【SRT測定尺度結果】



【読書についてのアンケート結果】

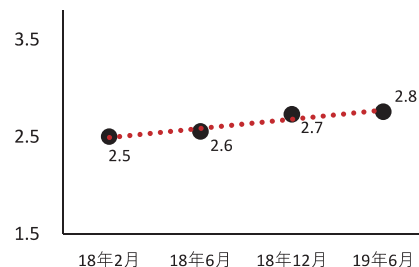
文章理解方略

「人物のしたことについて自分とくらべて読む」



自己効力感

「私は本を読むことが得意だと思う」



※ 2019年度の3年生の平均値の推移(得点の範囲は1点～5点)

こんな効果がありました！

- 学ぶ意欲、生活習慣、自尊感情については、4ポイント程度向上した。
- 文章理解方略の伸びと自己効力感の高まりがみられた。



主な取組内容

(1) 児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上について

- 多読を取り入れた授業設計
- 読んだ本の内容を把握し、自分の言葉で伝え合うストーリーテリングの導入
- 各教科における授業内容に係る関係図書の紹介及び活用
- 調べ学習等の探究活動を取り入れた学習活動の場の設定

(2) 取組体制について

- 学習・情報センター機能を生かすための学校司書と教科担任との連携及び図書館教育推進委員会の活性化
- 読書の日常化を図るための学校・地域の組織体制の強化
- 生徒会活動(図書委員会)を中心とした主体的な図書館づくり

英語の本の多読の様子



読んだ本の内容を伝え合うストーリーテリングの様子

特に効果的だった取組

【 外国語科における授業内多読活動 】

《挑む活動》 冊数と語数の記録

- 読書冊数記録更新のためのBook Diaryの作成(100冊毎)
- 読書における累計語数記録のためのBook Diaryの作成

「実践のポイント」を図に示しています。



《目標設定の活動》 レベル設定

- 多読用の本の読書レベルの設定
- レベルにあった本を自己選択できる時間と場の確保

《振り返る活動》 1分間ストーリーテリング

- 読書冊数と語数の記録更新を促す掲示物の工夫
- 自分の読みを確認するためのストーリーテリングの場の設定
- ストーリーテリングを行う際の話す視点の提示



こんな効果があります！

- 英語における語彙と、外国の文化に対する知識が増加する。
- 推測して読む力とリーディングスピードが向上する。
- 長文を読むことに対する苦手意識が低下する。

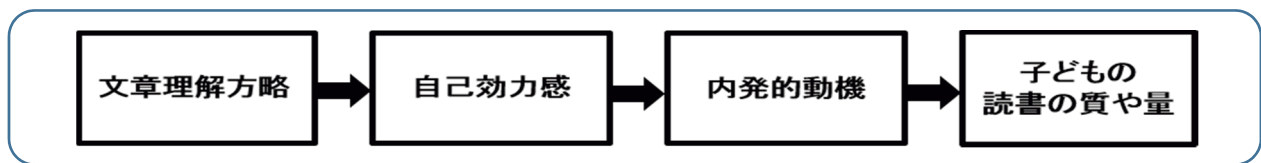
子どもの読書の質や量を高めるには

本事業で活用した「読書についてのアンケート」は子どもが読書に取り組むようになる心理について分析するために実施したものです。主に、以下の4点から調査しました。

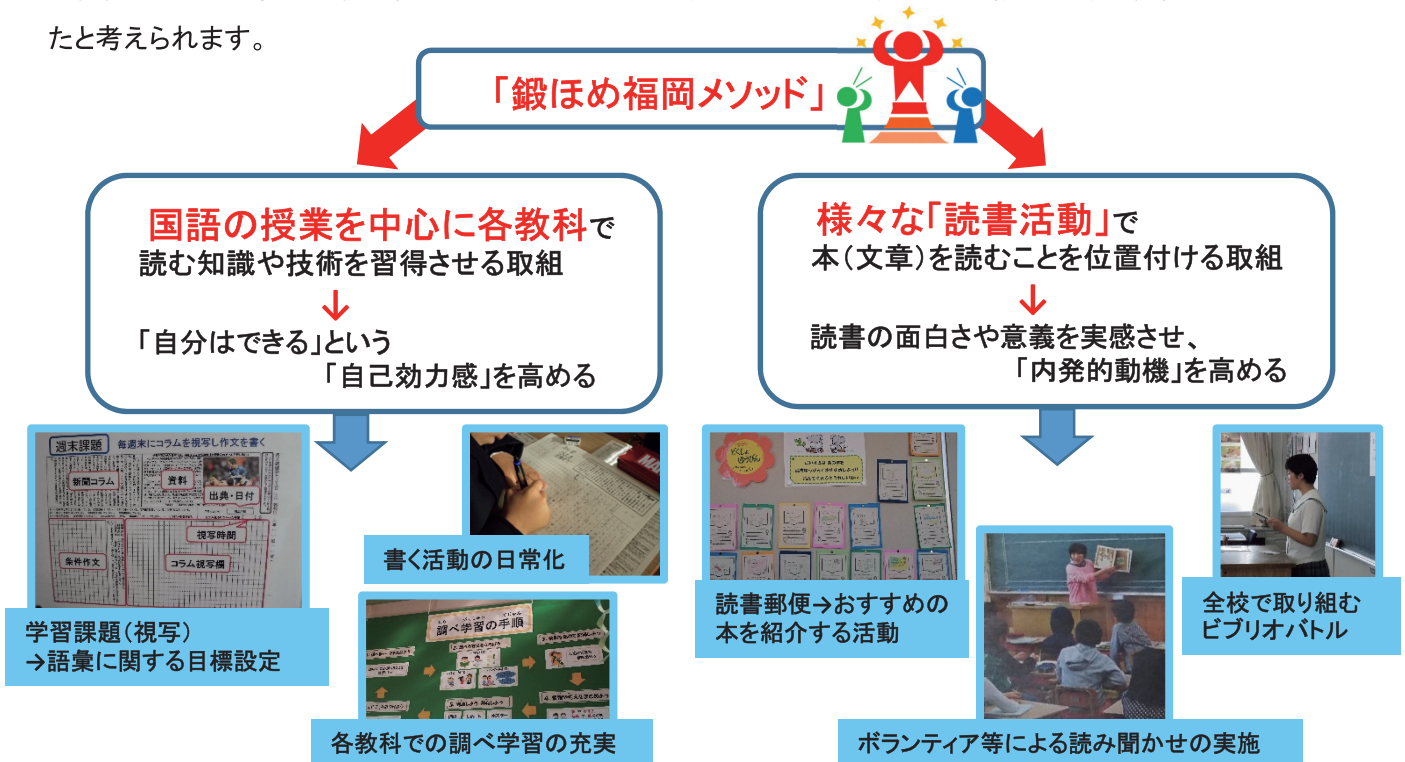
- **文章理解方略**: 文章を読むための方法を積極的に使っている程度
⇒「文章の組み立てをたどりながら読む」「書いた人が一番伝えたいことは何かを探して読む」等
- **自己効力感**: 自分は本を読むことが得意だと感じている程度
⇒「読んだ本のなかみを伝えるのが得意だ」「いろいろな種類の本を読んでいる」等
- **内発的動機**: 興味・関心や自分を高めたいという気持ちから読書に取り組んでいる程度
⇒「もっとたくさんを知りたい」「本を読むと心がわくわくする」
- **子どもの読書の質や量**: 普段の生活の中で読む本の質や量の程度

4点は以下のような関係であることがわかりました。

- 「**文章理解方略**」が身に付き、積極的に使っている子どもほど「**自己効力感**」が高い。
- 「**自己効力感**」が高い子どもほど「**内発的動機**」によって主体的に読書に取り組んでいる。
- 「**内発的動機**」が高い子どもほど「**子どもの読書の質や量**」に高まりがみられる。



本事業における各協力校の実践に当てはめてみると、以下の取組が、子どもの読書活動の充実につながったと考えられます。



鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす！